

## 第8回 KPU シンポジウム報告書

2017年5月2日(火)、京都薬科大学・躬行館 T31 講義室において、第8回 KPU シンポジウムを開催しました。特別講演として本学出身の片山 泰一 先生をお迎えして、「社会から求められている学際領域の重要性－製薬会社、アカデミアから社会連携に至る自身の経験から－」という演題で、ご自身の幅広い分野でご活躍される経験をもとに、薬学領域の幅広い可能性を含めてご講演をいただきました。一般公演として新任の本学の教員(楠本先生、小田先生、河嶋先生)および留学から帰られた武上先生から合計4題の講演をいただきました。合計308名の多くの学生や教員の方々がご参加くださいました。シンポジウム終了後の茶話会では17時40分頃まで、演者を囲んで学生を中心に熱心に質問が飛び交っておりました。

今回も座長先生方をはじめ多くの先生方からの多大なご協力を頂きましたことを深謝致しますとともに、今後とも引き続きご協力頂きますようお願い申し上げます。

KPU シンポジウム実行委員会

5月2日(火) 第8回 KPU シンポジウム概要

14:05-14:55

特別講演

片山 泰一 先生

大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学・連合小児発達学  
研究科・分子生物遺伝学研究領域 教授

「社会から求められている学際領域の重要性

ー製薬会社、アカデミアから社会連携に至る自身の経験からー」

座長：衛生化学分野 長澤 一樹 教授

15:10-15:35

楠本 正明 先生

臨床薬学教育研究センター 教授

「医療薬学と薬剤師」

座長：臨床薬学教育研究センター 橋詰 勉 教授

15:35-16:00

小田 真隆 先生

微生物・感染制御学分野 教授

「機能性糖脂質を利用した新たな感染制御法の開発」

座長：細胞生物学分野 藤室 雅弘 教授

16:00-16:20

武上 茂彦 先生

薬品分析学分野 准教授

「リポソームを用いた電気化学発光の信号増幅戦略

ードイツ・レーゲンスブルク大学での研究ー」

座長：薬剤学分野 勝見 英正 准教授

16:20-16:40

河嶋 秀和 先生

放射性同位元素研究センター 准教授

「酸化 LDL が有する新規生理活性の探索に向けてー放射性トレーサー法を用いた検討ー」

座長：臨床薬理学分野 小原 幸 准教授



特別講演

大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学・連合小児発達  
学研究科・分子生物遺伝学研究領域

片山 泰一 教授



臨床薬学教育研究センター

楠本 正明 教授



微生物・感染制御学分野  
小田 真隆 教授



薬品分析学分野  
武上 茂彦 准教授



放射性同位元素研究センター  
河嶋 秀和 准教授